

みずほCustomer Desk Report 2019/05/24号(As of 2019/05/23)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.28
TKY 9:00AM	110.22	1.1155	122.94	GBP/USD	1.2662
SYD-NY High	110.36	1.1187	123.07	AUD/USD	0.6900
SYD-NY Low	109.46	1.1106	122.15		0.6865
NY 5:00 PM	109.60	1.1182	122.56		0.6899
NY DOW	25,490.47	▲ 286.14	日本2年債	-0.1600	0.00bp
NASDAQ	7,628.28	▲ 122.56	日本10年債	-0.0600	0.00bp
S&P	2,822.24	▲ 34.03	米国2年債	2.1492	▲ 7.66bp
日経平均	21,151.14	▲ 132.23	米国5年債	2.1158	▲ 6.27bp
TOPIX	1,540.58	▲ 5.63	米国10年債	2.3212	▲ 5.83bp
ソコ日経先物	20,865	▲ 375	独10年債	-0.1205	▲ 3.40bp
ロンドンFT	7,231.04	▲ 103.15	英10年債	0.9520	▲ 6.00bp
DAX	11,952.41	▲ 216.33	豪10年債	1.5865	▲ 5.90bp
ハンセン指数	27,267.13	▲ 438.81	USDJPY 1M Vol	6.35	0.77%
上海総合	2,852.52	▲ 39.19	USDJPY 3M Vol	6.50	0.41%
NY金	1,285.40	11.20	USDJPY 6M Vol	6.83	0.40%
WTI	57.91	▲ 3.51	USDJPY 1M 25RR	-1.65	Yen Call Over
CRB指数	176.92	▲ 2.63	EURJPY 3M Vol	7.05	0.40%
ドルインデックス	97.86	▲ 0.19	EURJPY 6M Vol	7.41	0.39%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月23日	16:30	独 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	5月 44.3/55.0/52.4	44.8/55.4/52.0
	17:00	欧 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	5月 47.7/52.5/51.6	48.1/53.0/51.7
	17:00	独 IFO指数(企業景況感/期待/現況)	5月 97.9/95.3/100.6	99.1/95.0/103.5
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	211k
	22:45	米 マークイット製造業/サービス業/総合PMI	5月 50.6/50.9/50.9	52.7/53.5/-
	23:00	米 新築住宅販売件数	4月 673k	675k

【本日の予定】

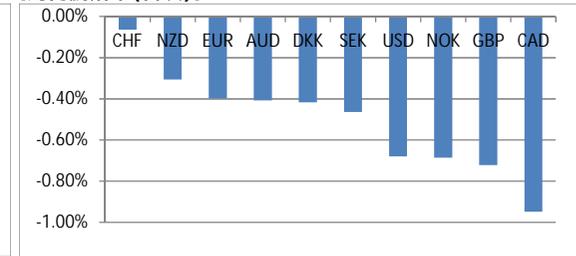
Date	Time	Event	予想	前回
5月24日	08:30	日 CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	4月 0.9%/0.9%/0.6%	0.5%/0.8%/0.4%
	17:30	英 小売売上高(除く自動車燃料・前月比/前年比)	4月 -0.5%/4.2%	1.2%/6.2%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)	4月 -2.0%	2.6%

東京	東京時間のドル円は110.22レベルでスタートすると、安く寄り付いた日経平均株価が下げ幅を拡大する中、110.13まで下落。その後は日本株が次第に下げ幅を縮小するにつれてドル円は反発し、一時110.36を付けた。しかし上値は重く、小動きとなると、110.33レベルで海外市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.33でオープン。米中通商摩擦への警戒感が継続するなか、リスク回避の円買いが優勢となった。小幅に下値を切り下げ、109.99まで売られる局面もあったが、その後また110円台を回復し、結局110.10でNYへ渡った。ポンドは、1.2644でオープン。英タイムズ紙からメイ首相が24日に退陣の日程を発表するとの報道が流れると1.2605まで下落。その数時間後に英外務省から「トランプ氏が訪英する日にもメイ氏は首相を務めているだろう」との発言が流れるとポンドが買われ、また1.265台を回復。結局1.2640でNYへ渡った。(ロンドン・ムービー 00531 444 179 マクルレル)
ニューヨーク	独5月製造業、サービス業PMIが共に予想を下回り、海外市場でドル買いが優勢となる一方、米中貿易摩擦懸念から円買いが強まり、109.99まで下落したドル円は、110.10でNYオープン。朝方は米新規失業保険申請件数がやや予想を下回ったが、予想範囲内の結果にドル円の反応は限定的となる。その後米5月製造業、サービス業PMIが予想を下回ったことからドル売りが優勢となり、続いて発表の米4月新築住宅販売件数が予想を下回ったこともあり、109.66まで下落する。午後米株式市場が下げ幅を拡大し、米長期金利も2017年10月以来に2.3%を割り込む展開に、ドル円は109.46まで下落する。終盤に掛けては、「トランプ大統領が中国との通商協定で合意する可能性がかなりある。」と発言するが、ドル円の反応は限定的となり、109.60でクローズした。一方、メイ首相が明日退陣の日程を発表との報道を受けポンドドルが下落する中、弱い独PMI結果も加わり、ユーロドルは1.1129まで下落し、1.1139でNYオープン。朝方は株安を受けたユーロ円の下落も加わり、ユーロドルは4/26に付けた安値1.1110を抜け、1.1106まで下落する。しかしこのレベルではユーロ買い意欲も強く、米PMI、新築住宅販売件数結果を受けたドル売りに1.1187まで戻す。終盤に掛けてはメイ首相が明日辞任のスケジュールを発表予定との関係者筋の話が伝わるが、ユーロドルの反応は限定的となり、狭いレンジでの推移が続き、1.1182でクローズした。(NY井上)

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.10-110.10	1.1100-1.1230	121.80-122.90

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は、海外時間に下落する展開となった。背景にあるのは米中通商問題への懸念、そして24日にもメイ首相が辞任表明を行うとされる観測が高まっており、ブレグジットの動向が混沌としていることであろう。上記2つのトピックスが、市場のセンチメントを冷やし、株安・債券高が進行、米10年債利回りは17年10月以来の水準まで低下している。海外時間終盤にかけて、上記2トピックスを巡るリスク回避の動きには一巡感が見られるが、いずれも一朝一夕での事態の解決を望める訳でもないだろう。本日のドル円は上値の重い推移になるのではないかと。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・原田